

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こばんはうすくら浜松南教室
------	---------------

公表日 令和8年2月20日

利用児童数 19名(兄弟3組) 回収数 15名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋だけでなく公園に行ったり、交流センターのホールで活動したり、交流センターのイベントに参加したりと、幅広い場所で活動出来ている。 ・教室自体は、子ども達全員が走り回るには、十分なスペースとは言いくらいが、近隣の施設等を上手く使って活動をして頂いていると思います。 ・施設がとても綺麗で清潔感あるスペースだったのも利用したいと思った理由のひとつです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動スペースについては、空き部屋などもないため、増やすことは難しいですが、限られた環境の中で、子どもたちが安全に楽しく活動できるように努めています。 ・事業所以外の施設も上手に活用しながら、思い切り体を動かすことのできる活動も積極的に行っていきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・普通の保育園と比べていいのか分かりませんが、手厚い人間だと思います。 ・いつも誰かが側で見てくれるので安心です。 ・どの先生方もしっかりされているので、先生方同士が負担にならないようでしたら適切であると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児発の職員だけでなく、放ディの職員も含めた全職員で子どもたちを見ていくようにしています。 ・活動によって配置の人数を変えて、より安全で丁寧な支援ができるように、心掛けています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども本人が、できなかつた事が施設を利用する事で、できる事が確実に増えている事、毎日楽しく利用させて頂いている事が、答えたと思います。 ・怪我をしないよう、常に片付いて広くしているように感じました。 又、よく動き回ってしまう子の為にもゲートが設置されているところもとても安心出来る環境だなと思いました。 ・自由時間・活動時間・昼寝時間と分かりやすくされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自らやりたくなる、やってみようと思えるような環境にしていくように、工夫しています。 ・朝の支度の絵表示や、一日の流れなど、目で見て理解しやすいようにしています。 ・部屋の扉の施錠や、ゲートの設置、室内の整理整頓などを含め、子どもたちが安全で活動しやすいようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教室へ送迎等でお伺いさせて頂いた際には、いつも綺麗で陽当たりも良く、活動する空間としては良いと思います。 ・面談の時に訪問させていただいた際はとても清潔でした。 ・とても綺麗だと思いました。家でも参考に出来たらと思います。 ・教室やイベント参加時に拝見させていただき、良い環境と感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の清掃を丁寧に行うこと、子どもたちが手にする物の消毒など、気付けています。 ・いろいろな来所者がいらっしゃるため、常に玄関先から廊下、部屋、トイレ、洗面台など、清潔に保てるよう、職員一人一人が気にかけるようにしています。
	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が基本話せないので、その中でいろいろ試して今後に繋がるように接していただけてます。 ・先生方皆さん、子どもの事を理解して頂き、無理をせず、子どものペースに合わせて頂いて、的確な支援をして頂いているのが、家の生活面でしっかり表れております。 ・お子様一人一人に寄り添うような様子が伺えてとても良いなと感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のミーティングや会議の中で、多視点から子どもの見立てをし、それらを共有して、支援をどうしていくかを話し合う機会を作っています。 ・送迎時に保護者の方と話した内容や、送迎中の子どもたちの様子など、いろいろな場面での様子を共有できるようにしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・親にも分かりやすく説明していただけています。 ・プログラムに沿って行っていただけだと思います。 ・大丈夫です。ちゃんと対応して頂けているなと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムを公開していますが、支援内容とのつながりを丁寧にお伝えしていきたいと思います。 ・計画更新の面談の際に、触れて行けると良いと思います。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談等で、しっかりととした支援計画を説明して頂き、保護者の意見もしっかりと聞いて頂いた上で支援計画を作成して頂いてます。 ・どうしたいか、どこをどうすれば良いかを相談して決めてくれるので十分理解していると思います。 ・面談の際に相談したことがきちんと反映されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の個人面談にて、お子様の様子を共有し、現在の困りごとや課題などを丁寧に聞きとるように努めています。 ・お話の中で、課題などをより具体的にしていくことで、計画にも分かりやすく反映していくことができるため、傾聴を大切にしています。

切 な 支 援 の 提 供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の目標などを、少しづつ希望も入れつつ計画として見れるので分かりやすいです。 ・子供にあった支援内容を設定してもらっています。 ・すごく細かい指導計画を作っていただけなのでそう思います。 ・面談で家の普段の様子、困り事から要望を聞いてもらい、計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の中で、計画を示しながら説明をようとしています。本人支援はもちろんですが、家族への支援や他の機関との連携の部分なども、具体的にどうしていくか、どうしていいかを一緒に考えて設定していくようとしています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画で立てたことが子供自身でできるように実際なってるので満足しています。 ・大きな成長は難しいけど、それでも子供に寄り添って、見守っていただけます。 ・支援内容と活動の結果を提出されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の中で、支援計画に沿ってどう支援をしてきたか、お子様の様子はどうだったかなど、実際の様子を丁寧にお伝えするようとしています。 ・達成が難しかった目標についても、どんな部分ができなかったのか、どうしてできなかったのかを伝え、次期支援にどうつなげていくかもお話ししています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、リトム（日誌）にて日々の活動の報告がありますが、驚くほど日々いろいろな内容の活動をしているのがわかります。 ・多様な内容で行っていただいていると思います。 ・色々な活動をして頂いてます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月ごとに、日々の活動内容の予定を立てています。内容が固定化され、マンネリ化していないか、今この子どもたちに必要な経験は何か、どんなことに興味をもっているかなどを考えながら、様々な経験ができるようとしています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場を設定いただいている。 ・あまりないように感じます。 ・同世代の子供たちとの交流は聞いたことがないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや他事業所のイベントに参加するなどして、自事業所以外の子どもと触れ合う機会は作っていますが、幼稚園、保育園の子どもたちとの交流はないので、今後検討していくと良いと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜説明を受けています。 ・とても丁寧な説明をしていただけたと聞き及んでおります。 ・しっかりと説明して頂きました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にお伝えするようとしています。また、保護者の方から質問などがあれば、隨時お答えできるようとしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと説明していただいている ・一つ一つ丁寧に説明と、これからこの計画をしっかりと立てて頂いていてとても助かっております。 ・とても丁寧な説明をしていただけた 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に「児童発達支援計画」を一緒に確認しながら、今の姿やそこからの課題を共有し、これからの支援方法もできるだけ具体的に伝えるようとしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティンにこだわりが強いので、親と一緒に参加等が難しい中で、いつも工夫していただきありがとうございます。 ・機会を設けてくれていると思います。 ・そういった活動が行われている事は 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレーニングは行っていませんが、保護者の方が気軽に相談でき、悩みを話したり共感したりできる「おしゃべり会」を定期的に開催しています。運動会やコンサートなど、兄弟も一緒に楽しめるイベントなども行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今の現状の問題点、今後の懸念点等を説明していただけてます。 ・口頭や連絡帳で伝えてあえています。 ・必ずその日にあった事、重要な事をしっかりとお話しして頂けております。 ・毎日の連絡ノートは親と先生たちの繋がりを示すもので大切だと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の送迎時には、家の様子をお聞きしたり、事業所での様子を丁寧にお話したりするようとしています。 ・連絡帳にも、その日の子どもの姿を具体的にお伝えするようとしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談でいろいろなお話が出来て情報を共有出来ています。 ・相談しやすくとも助かっています ・定期的に面談が行われています。 ・おしゃべり会参加により、聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の定期的な面談や、月に2回のおしゃべり会などで、保護者の方の子育てに関する相談を聞いたり、共有したりしています。
保 護 者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・あったことをお互い共感できていると思うので、それにあった支援をしてもらっています。 ・子供の個性（特性）を見ながら支援していただけてます。 ・大変共感的かと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方とお話しする時には、丁寧な聞き取りを大切にしています。保護者の方のお気持ちを良く聞き、その気持ちに充分寄り添っていくことを今後も継続して行なうかと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に一度のおしゃべり会で同じ思いを抱えている保護者の方と話をしていました。あと、今年はコンサートに参加したり、兄弟で参加した。 ・運動会やコンサート、おしゃべり会等設けられており、交流の機会はあるかと思います。 ・定期的に行なっていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回の頻度で、保護者の方の自由参加で「おしゃべり会」を開催しています。日頃の子育ての悩みや、知りたい事など、ざっくばらんに情報共有をしています。 ・運動会や親子コンサートを実施し、親子や兄弟で楽しめる機会を作っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ相談出来て、お話しを聞いていただけます。 ・親の意見なども真摯に受け入れてくださっています。 ・なんでも困ったときに相談できるような環境や先生たちの雰囲気に助けられてきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に日程を決めるのではなく、いつも相談してもらえるよう、日々の保護者の方々とのコミュニケーションをとるようとしています。必要に応じて、時間や場所の確保をし、じっくりお話を聞くようとしています。

20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 手紙や教室公式LINE等を、活用して速やかな情報伝達への配慮が感じられます。 子の特性を考えて配慮していただけます。 丁寧に対応していただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な書類などは、個別にお声掛けをさせていただいたり、リトムでお知らせをするなどしています。 非常時などは、LINEを使用するなど、臨機応変に対応しています。
	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 写真付きで通信を出していただけるのが嬉しいです。 毎月の園便りで情報をしっかりと提示されています。 行事があるたびにお便りでお知らせしてくれたりお写真をいただけたりしていました。 	<ul style="list-style-type: none"> 月に1度、こばんだよりを発行しています。子どもたちが経験したことや、日々の様子を写真を添えてお伝えすることで、家の親子の会話が増えたり、事業所での活動の様子も分かっていただけています。
	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 十分に留意されていると思います。 信頼します。 厳重に対応されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報などが書かれた書類などは、鍵付きの保管庫に入れたり、外部に持ち出すことのないように徹底しています。
非常時等の対応	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 訓練をした時には、リトム（日誌）にて報告があり、都度マニュアル、訓練内容等の資料の配布があります。 避難訓練は定期的に行われています。緊急時対応マニュアルが理解できていませんでした。 定期的に訓練されており、家でも復習している。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練を行った時には、保護者の方にお便りを配布したり、リトムで内容を知らたりしています。 避難訓練は毎月行っていますが、防犯訓練などは実施できていないので、今後は行っていきたいと思います。
	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練も何度も行う事で、ルーティンとして身についているようです。 避難訓練で避難場所に実際行ったり、それが実践されている。 避難訓練など行った際の状況をプリ 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練は、毎月行っています。その様子も毎回保護者の方にお伝えするようになります。 保護者の方には、情報伝達訓練として、公式ラインでのメール受診に対する返信をお願いしています。
	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 先生方が常に近くで見守ってくれていますので安心です。 以前津波警報が出た際の対応をお便りで確認でき安心して預けておりました。 安全をしっかりと確保されていると 	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画は保護者の方に周知しています。日々の防災に関する訓練の様子をお伝えしたり、実際避難した時には、その詳細をお伝えするなどして、安全確保を徹底していることを、お知らせしていきたいと思います。
	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 何かあった場合はすぐに連絡がきますので大丈夫です。 丁寧に対応してもらっています。 ちょっとした怪我等も説明していただけてます。 	<ul style="list-style-type: none"> 小さな怪我でも、状況とその後の対応については必ず職員で共有し、保護者の方に伝えるようにしています。
	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 家の次ぐらいに安心出来る場所だと思います。 いつも喜んで出かけています。 いつも笑顔で通っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちが不安定になり、泣いてしまう子もいますが、職員が一人ひとりの気持ちに寄り添って、安心感を与えられるようにしていきたいと思います。
満足度	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝、送迎の車が来るのを楽しみに待っています。（休みの日の朝も） カレンダーを見てはこばんへ行ける日数を数えています。 子供が毎日楽しく通えてありがたいです。 楽しみにしている様子です。 	<ul style="list-style-type: none"> 嫌がって、事業所に行きたくないという子はおらず、どの子も笑顔で来所してくれています。事業所に行ったら楽しいことが待ってると思ってもらえるよう、職員も笑顔で接し、活動も工夫していきたいと思います。
	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 家ではやらない事にチャレンジ出来たりしてとてもいい経験が出来てると思います。 大変良くしていただいていると思います。こばんさんに通わせて本当に良かったと感じています。 子供たちが楽しく通ってくれることがなにより1番嬉しいです。また言語だったり成長を喜んで感じることが増えたので利用してよかったです。 年々レベルアップされている。他の事業所には移りたくない。 とても満足です感謝しています！ 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭だけではできない様々な経験ができる機会をたくさん作っていけるといいなと思います。 日々成長していく姿を、保護者の方と共有し、一緒に子育てを楽しめる事業所になっていけるように努めています。 保護者の方々のご意見を大事にして、より満足していただけるようにしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こばんはうすさくら 浜松南教室
------	-----------------

公表日 令和8年2月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・身体を動かす等で広いスペースを必要とする場合は、周辺の施設を利用してスペースを確保している。	・個別対応等で個室があるとなお良い。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・利用人数や活動内容に対して、適切な職員数になるよう配置人数を変動している。	・職員休暇で職員配置の調整が必要な場合がある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていいるか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・子どもに分かりやすいよう絵表示で掲示している。	・玄関が狭いため、人数を調整して出入りをするようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・使用する玩具や用具は、毎日消毒・清掃を行っている。 ・高い位置に窓があることで、安全に換気を行うことができている。	・活動内容に合わせて、子どもが過ごしやすいよう環境を設定していく。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	・教室内でパーテーションを用いて、区切っている。 ・教室外では、必要に応じて廊下や洗面所を個別空間として使用することがある。	・必要に応じて個別の場所を整えていく必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・毎日ミーティングを行い、職員間の情報共有や振り返りを行っている。 ・ヒヤリハットでケガや事故の再発防止に努めている。	・職員一人ひとりが、明確な目標を持って支援を行うことのできるよう環境を整えて行く必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・頂いた意見の中から業務や支援に反映できる内容を精査して、見直しを行っている。	・評価表だけでなく、保護者との日々のやりとりを通して意見を把握し、業務に取り入れていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・事業所内での定期的な面談やミーティングでの意見交換ができている。	・どの立場の職員でも意見を言いやすい環境を事業所内で整えていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・相談支援員さんが来訪された際に実際の支援内容を見て頂き、ご意見を頂くことで、支援の見直しを行っている。	・第三者による外部評価は行っていないが、今後検討していく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・事業所内での研修や事業所外での研修も希望により受講することができる。動画研修を取り入れることで、時間を確保している。	・研修が増えてきたことで、内容と頻度によってスケジュールの調整を行っていく必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・支援方針については、ホームページで公表している。	・支援プログラムを職員間で作成・公表しているものの、保護者には事前に公表できていないため、月間の支援プログラムを配布する等の取り組みをしていくたい。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・定期的な個別面談を行い、ニーズや課題を共通認識して、計画に反映している。 ・併行通園の場合は園とのやりとりを通して、情報を取り入れている。	・児童発達支援の子どもに対して、本人のアセスメントは難しい。日々の子どもの姿を通して、計画に繋げていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・サービス担当者会議を通して、子どもの支援に関わる職員の共通理解を図り、最善の利益を検討している。	・時間の確保が十分でないことも多いため、スケジュールの調整を徹底していく。有効的な時間の使い方をしていく必要がある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・児童発達支援計画を全職員が読み込み、確認後に署名するよう徹底している。 ・共有した支援内容に沿って、支援を行っている。	・共通認識の時間を確保すると共に計画に沿った支援を徹底しているが、職員間での支援の統一を図っていく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・アセスメントシートを用いて子どもの情報を把握すると共に、日々のミーティングを通して個人記録を作成し、確認している。	・インフォーマルなアセスメントをさらに活用していく必要がある。
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・日々、職員間で振り返りを行いながら計画に沿った支援内容を確認している。	・それぞれの支援内容を明確にし、プログラムに反映していく必要性がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・活動プログラムは、職員間で連携を取りながらチームで共有している。	・時間が限られている中で、余裕を持って活動内容の準備や共有を行なうことができるようにないたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・固定化しないために周辺施設を活用して活動の幅を広げたり、いまの子どもの姿や状況に応じて新たな遊びや活動を提案したりしている。	・安定した活動だけでなく、決められた時間や環境の中で、新しいプログラムを試していきたい。

19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・一日の流れの中で集団と個別の活動を取り入れるよう計画・実行している。小集団での活動が基本ではあるが、個別活動として学習プリントに取り組む時間を設けている。	・子どもの状況によって、個別の活動を安定して取り入れができるようにしていきたい。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・チーム内での役割を明確にし、朝礼時にその日の担当職員から活動内容に沿った職員の配置や子どもの担当などを細かく確認・共有している。	・子どもの状況によって職員の配置変動やフォローに入る職員を要したりするがあるため、事前に状況を見極めたり把握しておくことが必要である。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・毎日のミーティングで子どもの様子と共に、支援の振り返りを行っている。支援の統一を図る意味でも、その日に起きた事に対する今後の対応について検討・共有をしている。	・時間を要することが多く、短時間での有効的な振り返りができるよう改善していく必要がある。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・業務日報と個人記録に記録を残している。	・計画に沿った記録や分かりやすく要点をまとめた記録となるよう、配慮していきたい。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的なモニタリングや日々の保護者との情報共有の中で、必要に応じて見直しの判断を行っている。	・事業所内だけでなく、関係機関からの情報と共に、より的確な見直しの判断を行っていく。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・日々、事業所内で情報共有を行い、その子どもの状況や支援をよく知っている職員が出席するようにしている。	・現場の職員が積極的に参加できるよう、環境やスケジュールの調整をしていきたい。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要に応じて連携し、情報共有をして子どもや家庭の支援にあたっている。	・今後も関係機関と連携が取りやすいよう、関係構築に努める。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・園訪問やかけはしシートの活用を通して、保護者の同意を得た上で園や学校との情報共有を行っている。	・今後も定期的な園訪問や情報共有の場を設けていく。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・就学時には、かけはしシートを活用して子供の特性や支援の方法などを記載し、学校での面談を通してより具体的な情報を共有しています。	・就学後も学校との関係構築や子どもの情報共有に取り組んでいきたい。
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・事業所近くのふれあい交流センターを利用させて頂いているため、施設でのイベントで地域の方との交流をしています。	・幼稚園や保育園との交流の機会がほとんどないため、地域の園と交流の場を広げていきたい。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時や連絡帳、月に一度のお便りで子どもの様子を写真付きで伝えたり、日々の相談や発達状況について連絡を取り合っている。	・より分かりやすい文章で、情報の漏れがないように共通理解を深めていきたい。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・ペアトレーニングについては行っていないが、家族支援として2か月に一度の懇談会や家族参加の行事、講演会等を開催している。	・家族支援の観点から様々なプログラムを通して、研修や情報共有の機会を検討していく。
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に丁寧に説明すると共に隨時、利用者様からの質問にも真摯に回答している。	・最新の情報や変更点を含め、正確に説明できる必要がある。
35	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・個別面談では細かくアセスメントを行い、子どもや保護者の意向を踏まえた上で児童発達支援計画を作成している。	・児童発達支援の児童の場合、本人によるアセスメントは難しい場合が多いため、保護者の意向を尊重している。
36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・児童発達支援計画の原案を作成後、対面で説明・修正を行う。最終的に本案を提示し、支援内容を含めた具体的な説明を行った上で、同意を得て署名を頂いている。	・保護者へ丁寧で分かりやすい説明を行っていく。 ・時間に余裕を持って、作成から同意までの流れを行えるようにする。
37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・日々の送迎や連絡帳、懇談会等で必要に応じて助言を行ったり、相談することができる場を設けたりしている。	・どの職員でも相談しやすい雰囲気作りや保護者との関係構築に努めていく。

保 護 者 へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・定期的な懇談会で保護者同士の交流の場を提供している。また、家族で参加できるイベントを季節ごとに開催することで、保護者同士やきょうだい同士の関わりの場となっている。	・家族参加のイベント等で、より積極的に保護者同士やきょうだい同士の関わりが持てる内容を提案していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・保護者と直接お会いする機会を活用して、迅速に対応している。	・今後も保護者からの相談に対して、丁寧に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎日の連絡帳以外に月に一度、お便りを配布して活動内容や行事の様子等を周知している。また、連絡帳やお便りに写真を掲載することで、日々の子どもの様子を確認している。	・SNS等を活用して、最新の情報や知りたい情報をいつでもアクセスできるようにしていくことも検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報の書類は鍵付きで保管し、個人情報に関わる不要な書類はシュレッダーで残らないようしている。	・書類以外の写真等、身近な個人情報の管理にも徹底していきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・視覚的に伝わりやすい掲示物やジェスチャーを用いて配慮している。	・子どもや保護者のそれぞれの特性に合わせて、意思疎通の手段を広げていく必要がある。 ・障がいのみならず、外国籍の方への配慮や情報伝達手段を確立していきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・ふれあい交流センターで、地域の方と季節のイベントを通して交流をしている。 ・周辺の福祉施設や特別特別支援学校のイベント・取り組みに参加させて頂く機会がある。	・共同で企画したイベントはあるが、事業所主催でのイベントに招待する機会はないため、検討していきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・各種のマニュアルを策定し、定期的に想定訓練を行っている。	・事業所内ではマニュアルで対応を明確化しているが、保護者への周知にもせ努めていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・BCPを策定し、毎月の活動プログラムの中で避難訓練を実施している。周辺施設と連携をとって避難する訓練も行っている。	・職員間でBCPの周知と避難訓練の内容を深めていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に保護者への確認を行い、定期的な面談で変更等を確認している。	・職員全体で把握し、周知を徹底していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・契約時に保護者に確認し、職員間で情報を共有している。 ・食物アレルギーのある子どもは弁当を持参して頂き、内容を確認後、隣に職員を配置して安全に配慮している。	・アレルギーのある子どもへの安全対応を職員間で周知し、確実な支援を行っていく。
非 常 時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・教室内の身近な安全を日々確認し、破損している教材の確認や清掃の徹底に努めている。	・安全点検等を継続して行っていく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時や避難訓練時に周知している。	・今後も分かりやすい情報共有に努めいく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・日々のミーティングでヒヤリハットを共有し、再発防止に向けた対策をチーム全体で検討していく。	・ヒヤリハットの再発防止策を支援現場で迅速に対応していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	・虐待チェックリストを年に3回、全職員が取り組んでいる。 ・外部の虐待防止研修に参加する機会を設けている。	・日々の支援を職員一人ひとりが振り返りながら、不適切な支援に繋がらないようにしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・身体拘束を行う前に支援内容を十分に検討している。	・現在は対象児童がいないが、身体拘束の知識向上に取り組んでいきたい。